

高圧ガス事故事例情報シート

<b>整理番号</b> H17-09	<b>事故名称</b> 車載中の容器からの液化石油ガス漏えい			
<b>発生日</b> 2005年6月29日	<b>事象</b> 噴出・漏えい		<b>原因大分類</b> 設備	<b>KHK Code</b> 2005-0168
<b>発生場所</b> 相模原市	<b>ガスの種類</b> 液化石油ガス		<b>原因中分類</b> 締結管理不良	
<b>事故区分</b> 移動	<b>死亡</b> 0	<b>重傷</b> 0	<b>軽傷</b> 0	<b>原因補足</b> バルブの締付
<b>事故状況</b> LPG配送員が、容器を積んだままの配送車を自宅近くの契約駐車場に止めたまま帰宅した。当夜午前1時頃、警察官が車上のLPG容器1本からガスが漏えいしているのを発見した。ガスの漏えいは容器元弁を閉じることで停止した。配送車両には、50kg容器24本、20kg容器15本が積まれていた。				
<b>事故原因</b> 配送員が容器交換作業を行った際、容器元弁の締め付けトルクが弱かったため、時間経過とともに元弁が緩み、ガスが漏えいした。また、所定の貯蔵所以外の場合において、車両に積載した容器によってLPGを貯蔵した。				
<b>措置・対策</b> 従業員に対し再教育の実施。				
<b>教訓</b> 1. 公共の安全確保と容器の盗難防止の観点から、このような積み置きはしない。 2. 高圧容器を積載したまま、所定の貯蔵所以外に駐車してはいけない。 1. 容器弁は、革手袋で力一杯締め付ける必要がある。 2. 経営者、管理者を含む社員への高圧ガス教育が必要である。				